

JPDA 4月臨時理事会議事録

日 時：平成27年4月15日（水）午後1時30分～午後5時

場 所：文京シビックセンター(シルバーセンター) 3階 会議室 B

出席者：理事22名中21名（加藤芳夫、伊藤 透、井上 聡、牛島志津子、畝野裕司、
江藤正典、小川裕子、加藤和美、加藤憲司、菊地泰輔、田川雅一、竹内清高、
永島 学、中森恭平、名久井貴信、信藤洋二、藤田 隆、丸本彰一、森 孝幹、
八木勇達、山崎 茂）

欠席届（梅原 真）

監事2名中1名（池田 毅） 欠席届（島崎英雄）

議事の経過：

定款第31条(議長)により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者21名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、伊藤透副理事長、池田毅監事の3氏であることを確認し、議事に入る。

(決裁事項の議案号数はゴシック。)

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに入会申込み法人4社、個人1人があり、定款6条並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人4社、個人1人の入会を承認した。

(1)法人会員（4社）

<東日本>

株式会社MDDクリエイティブ（推薦者=竹田良雄）

ハウスウェルネスフーズ株式会社（推薦者=西 朋宏）

株式会社ブランドクリエイト（推薦者=田川雅一）

<西日本>

株式会社サンデザインアソシエーツ（推薦者=加藤芳夫）

(2)個人会員（1人）

<西日本>

木場久美子(こば くみこ)（推薦者=松尾政明）

第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した法人会員2社、個人会員3人の退会を承認した。

(1)法人会員（2社）

<東日本>

東芝ライテック株式会社（部門廃止のため）[平成27年3月末退会希望]

<西日本>

パナソニック株式会社デザインカンパニー（組織解散のため）

[平成27年3月末退会希望]

(2)個人会員（3人）

<東日本>

高田修自（パッケージデザインの依頼が無くなったため）[平成27年3月末退会希望]

<中日本>

寺田雅俊（パッケージデザインの仕事が無くなったため）[平成27年4月末退会希望]

<西日本>

松尾政明（法人代表になるため）[平成27年6月末退会希望]

第3号議案 協会名義使用承認の件

山崎事務局長より下記の4件については、これまでに協会名義使用承認実績があることから、既に回答済みであることが案内された。

(1)後援名義の使用依頼（2件）

- ・「2015日本パッケージングコンテスト」（JPDA賞の交付）

主催 公益社団法人 日本包装技術協会

- ・「インテリア ライフスタイル 東京 2015」

主催 メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

(2)協賛名義の使用依頼（2件）

- ・第45回「日本プロモーション・マーケティング協会展」

主催 一般社団法人 日本プロモーション・マーケティング協会

- ・「第80回東京インターナショナル・ギフトショー秋2015」

主催 株式会社ビジネスガイド社

第4号議案 正副理事長報告

加藤理事長、伊藤副理事長から下記の報告があった。

加藤理事長報告 ・3/18 ASPaC打合せに出席。伊藤副理事長、田川・森両理事、
山崎事務局長同席。

- ・ 4 / 8 「第54回2014ジャパンパッケージングコンペティション」
(一社)日本印刷産業連合会主催の表彰式に出席し、JPDA賞
授与。

伊藤副理事長報告 ・ 3 / 18 ASPaC打合せに出席。

第5号議案 平成26年度事業活動報告及び収支決算報告 承認の件

(1) 平成26年度事業活動報告

山崎事務局長から平成26年度事業活動実績が報告され、原案通り承認された。

(2) 平成26年度収支決算報告

山崎事務局長から、平成26年度の収支決算報告が正味財産増減計算書に沿って報告され、原案通り承認された。

経常収益は予算6,031万円に対し実績は6,004万円で予算に対して27万円のマイナスであった。内訳を見ると、事業費は120万円のプラスであったが、新入会員減・退会者増による入会金・会費収入が159万円のマイナスであった。なお、公益目的事業収益は4,119万円であり、僅かではあるが予算に対し10万円のプラスであった。

一方、経常費用は予算6,007万円に対し実績は5,485万円で予算に対して522万円の内輪であり、これは、管理費の削減額431万円に負うところが大きい。経常費用の中の事業費を見ると削減額は98万円であり、事業全体としてはほぼ計画通りであったと判断できる。ただ、公益事業に向けた費用が予算に対して214万円少ない点は注意を要する。なお、経常費用に占める公益比率は72.9%であった。

以上を総合した当期経常増減額は24万円の予算に対して519万円となり、予算に対して495万円のプラスであった。その内、公益目的事業費は122万円で前期の388万円を大きく下回ることが出来た。

その結果、経常外増減の部を加えた一般正味財産期末残高は当初予算の2,571万円に対し、495万増の3,066万円で終了した。

今期は、前期の経常費用縮減額が937万円と大きかったことを受け、事業活動においては予算に見合った公益活動推進に努めることを課題としてきたが、少し成果を上げることが出来たと考えている。なお、今期も公益活動強化に向け、2020年のオリンピックの年に迎えるJPDA創立60周年の公益記念事業費として200万円を積み立て、海外からの人々を含め広く一般の人々にアピールできるJPDAならではの公益記念事業を引き続き検討していくこととした。

この件に関し、池田監事から「・事業及び収支決算報告は真実であること、・不正な行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められないこと」及び、「健全な運営がなされている」との監査結果が報告された。なお、平成26年度収支決算書の詳細について

ては、5月初旬にお手元に送付予定の第34回通常総会議案書にて確認ください。

第6号議案 新入会員拡大に向けての提案

本日の理事会までに、加藤理事長、桑理理事、丸本理事から書面で新入会員拡大策を提案いただいたが、十分な検討時間が無いこともあり、5月理事会までに皆さんから書面で提案いただき、改めて全員の意見をベースに検討することとした。

なお、名久井理事、井上理事、加藤理事から口頭で対策案が紹介されたが、改めて書面で新入会員拡大策をいただくこととした。

第7号議案 委員会報告

<決済事項>

■ 以下、山崎事務局長から事業活動収支計算書(前述の収支決算報告と同じ内容であり、既に承認済みであることから、活動内容の説明は省略された。)が報告された。

○国際交流

- ・APD in ソウル 2015 代表者会議 (公益会計)

収入合計0円、協会補助250,000円、支出合計245,001円、収支差額+4,999円が承認された。

○コンペティション

- ・日本パッケージデザイン大賞 2015 (公益会計)

収入合計10,380,000円、協会補助86,000円、支出合計10,923,540円、収支差額-457,540円が承認された。

○展覧会

- ・災害時に役に立つ物や心のデザイン展 (公益会計)

収入合計650,287円、協会補助550,000円、支出合計1,474,913円、収支差額-274,626円が承認された。

○インターネット

- ・協会HP企画運営、メルマガ・SNS発信、マイワークの運営等 (公益会計)

収入合計1,462,000円、協会補助809,500円、支出合計1,337,274円、収支差額+934,226円が承認された。

○アーカイブ研究会

- ・JPDA独自のアーカイブ資料の作成 (公益会計)

収入合計0円、協会補助480,000円、支出合計193,511円、収支差額+286,489円が承認された。

○デザイン保護

- ・ (a) 協会HPの委員会レポートページの更新 (公益会計)
収入合計0円、協会補助227,000円、支出合計189,396円、収支差額+37,604円
が承認された。
- ・ (b) D-8保護研究会への参加、デザイン保護ハンドブック第2版の発行 (公益会計)
収入合計0円、協会補助255,000円、支出合計285,541円、収支差額-30,541円
が承認された。

○調査研究

- ・ パッケージデザインに関する情報の収集・サイト公開、調査の実施 (公益会計)
収入合計0円、協会補助880,000円、支出合計635,861円、収支差額+244,139円
が承認された。

○国内交流

- ・ 全国会議 in 名古屋 2014 (公益会計)
収入合計1,333,000円、協会補助700,000円、支出合計1,874,746円、
収支差額+158,254円が承認された。
- ・ 全国会議 in 名古屋 2014 (法人会計)
収入合計721,000円、協会補助0円、支出合計710,700円、収支差額+10,300円
が承認された。

○教育

- ・ 第41回パッケージデザインセミナー (公益会計)
収入合計863,000円、協会補助0円、支出合計462,638円、収支差額+400,362円
が承認された。

○中日本(北陸)

- ・ 中日本(北陸地区) 富山デザインフェア 2014 (公益会計)
収入合計100,000円、協会補助22,000円、支出合計124,020円、
収支差額-2,020円が承認された。

<報告事項>

○国内交流

- ・ 藤田、井上両理事から今年度の全国会議に関して、下記の案内があった。
開催は今年の10月3日で、現在、講師につき大阪府中小企業関連のメンバーからの選任を
検討中である。今回のテーマは、東大阪地区の中小企業を会員が訪問・取材したレポー
トをベースに論議しようというもので、全国会議参加者の分科会等での催事への参加も
検討中とのことであった。

○国際交流

- ・森理事から資料に沿って、APD in ソウル及びアスパックに関して、下記の案内があった。

APD in ソウル：参加者は26名で、カタログへの広告掲載は2ページ(10社)、カタログへの作品掲載は36ページ(1ページ：8社、2ページ：14社)で目標を達成することができた。

アスパック：現状報告として、事業認定、共催契約、予算編成、アスパック事務局員、委員会の開催、委員会規定、2014年度事業報告等につき、概要が案内された。なお、事業認定に関しては「変更認定申請」を4月14日に内閣府に電子申請した旨が山崎事務局長から報告された。また、今期第1回目の委員会が16日夜に開催予定である。

○コンペティション

- ・名久井理事から、下記の案内があった。

現在、カテゴリーの見直し案を作成中であり、近々委員会を開催して検討の予定である。また、コンペティション運営マニュアルを作成中で、これが完成すれば運営はこれまで以上にスムーズに進行するだろうと考えている。なお、委員会メンバーが足りないので、新メンバーを紹介して欲しい。

○展覧会

- ・小川理事から、100人のデザイナー展はこの辺で一旦終わらせ、新企画を考えたい旨が案内された。新企画については、世の中の役にたつ企画を大阪・東京で検討していきたい旨も報告された。

○出版

- ・山崎理事から、「年鑑日本のパッケージデザイン2015」の進行状況につき説明があり、年鑑の装丁は、社会で明るくイキイキと生きているパッケージの象徴として、太陽の下で生きている「花」を使用しており、デザイン関係者以外にも広く一般の人々に興味を持って年鑑を手にとって貰いたいと考えていることが紹介された。また、今回の特集は、過去のコンペで入賞に漏れた作品を委員会メンバーで再評価する試みにチャレンジした。なお、今回の年鑑発刊に関し、JPDA・六耀社・代官山の蔦屋書店とのコラボによる年鑑出版催事として、「入賞作品の展示、トークショー」を企画・開催予定であることが案内された。

○教育

- ・山崎理事から、現在、今期の教育の内容を検討中であることが案内された。

○広報

- ・田川理事から、次号PDは総会・記念講演会を特集する予定であることが案内された。

○総務

- ・田川理事から、「JPDA VI」の見直しに関しては、整理して理事会で検討する旨が案内された。

○アーカイブ研究会

- ・信藤理事から、現在収集中の大賞コンペの大賞・金賞作品に関しては、5月1日の午後に委員会メンバーが集まって、保管方法等を話し合いながら整理することになっている旨が案内された。

○調査研究

- ・加藤理事から下記の報告があった。

3月に実施した地方在住のデザイナー調査は、調査研究委員会メンバー全員で電話アンケートの対応を行った。そこで、メンバーで座談会を実施し、意見交換を図った。その内容も含め、調査結果報告を集計中である。

○東北プロジェクト

- ・江藤理事から、4月10日に仙台で開催した復興大学を中心とした教授・学生・地元クリエイター達との第一回目の会合の結果が案内された。また、打合せで決まった今後の予定は次の通りである。

①加藤理事長が6月に東北工業大学(ライフデザイン学科)で、セミナー&ワークショップを開催予定。

②東北工業大学の一番町サテライトロビー(80人収容可能)&ギャラリーが必要時に無料貸し出し可能になった。

③日本デザイナー芸術学院仙台校から、前回の実績が評価されセミナー&ワークショップの開催希望が寄せられた。

※東北プロジェクトは、JPDAに在籍する方々の様々な知見を東北の皆さまにシェアすることで、東北の産業の復興に繋げることを目指している。また、東北プロジェクトが目指すのは、JPDAが東北で目立つプロジェクトを立ち上げるのではなく、東北の若いクリエイターや学生達を陰で支える活動だと考えている。

○東日本

- ・竹内理事から、前期の反省と今期の対応に関し3月23日に委員会を開催したことが案内され、前期の賀詞交換会は会場の構成もあり、また参加者が多かったこともあって、参加者の顔が見えなかったのが、今期はこの点を改善したい旨が案内された。

○中日本(北陸)

- ・畝野理事から、富山デザインフェアを10月上旬に、トークカフェを11月頃に富山で開催予定であることが案内された。

第8号議案 事務局報告

山崎事務局長から、資料に沿って下記の案内があった。

- ・第34回 通常総会、その他スケジュールについて
- ・平成26年度 入会・退会者一覧について
- ・会員状況について
- ・協会名義使用承認の件について

第9号議案 次回理事会開催スケジュール

日時：平成27年5月29日（金）午後1時～3時20分

場所：東京ガーデンパレス 3階 「平安(A)」

東京都文京区湯島1-7-5 TEL. 03—3813—6211

※ 理事会終了後に第34回通常総会、記念講演会、交流会を開催予定しています。